



水素燃料の航空機 2030年代に実用化へ



水素の燃料タンクを搭載した航空機（ユニバーサル・ハイドロジェン社のHPより）

地球温暖化を食い止めるために、脱炭素化が進む中、水素を燃料とした航空機もいよいよ実用化に向けて開発が本格化することです。

水素を燃料とする航空機の空港インフラ整備を巡る検討会の初会合には、経済産業省や国土交通省、文部科学省のほか、関連する民間企業8社や宇宙航空研究開発機構（JAXA）などが参加し、実用化に向けた技術の開発状況や現状のインフラ設備について議論を始めました。経産省は脱炭素技術の開発を支援する2兆円の基金から、水素航空機の開発に最大210億円を配分することを決めており、国内の部品サプライヤーを技術開発でも支援していく予定です。

進む水素社会の実現～川崎市での取組～

川崎市では2015年に「水素社会実現に向けた川崎水素戦略」を策定してから、水素エネルギーの積極的な導入と利活用による「未来型環境・産業都市」の実現を目指して取り組んでいます。具体的には先導的なモデルとなるプロジェクトとして、以下の8つのリーディングプロジェクトを企業や国等多様な主体と連携して推進しています。

1. 水素サプライチェーン構築モデル
2. 水素BCPモデル
3. 鉄道駅における水素BCPモデル
4. 地域循環型水素地産地消モデル
5. 燃料電池フォークリフト導入・クリーン水素活用モデル
6. パッケージ型水素ステーションモデル
7. CO2フリー水素充填・フォークリフト活用モデル実証事業
8. 燃料電池鉄道車両の実用化に向けた実証事業



東京都内と神奈川県内を走る地下鉄・電車の車内のポスター

また川崎臨海部では、企業の保有するパイプラインで水素がネットワーク化されており、さまざまなところで水素を活用しています。その量、全国で使用されている水素の約11%。1時間あたりの水素供給量は電気に換算すると約87万世帯分にもなっています。

現在、水素は主に工業用途として活用されていますが、今後はわたしたちの身近なところや家庭でも水素はあたり前のエネルギー源として活用される日がくるのではないのでしょうか。

プレゼントキャンペーン 実施中！



MINTECH水素発生器
MT-A100



MINTECHアクアワールド
MT-B150

MINTECH水素発生器
MT-A100を1台お買
い上げのお客さまにな
んと！MINTECHアクア
ワールド1セットをプレゼ
ント♪

2021年年末までです！

MINTECH

株式会社ミンテンテック

〒130-0022

東京都墨田区江東橋4-24-5

協新ビルディング401号室

TEL 03-5669-0986

FAX 03-5669-0987

E-mail: info@mintech.ne.jp

https://www.mintech.ne.jp/

編集後記
新型コロナウイルスの感染は、おさまる様子を見せず、不安な日々が続きますが、みなさまお元気でお過ごしでしょうか。脱炭素化に向け、水素社会が次第に進んできました。今回は、川崎市ではとりわけ力を入れている取り組みをご紹介します。水素があたり前の社会は着実に訪れるでしょう。



MINTECH

アクアワールド
MT-B150